

否定の意味を示さない「～ないか」について：中国語との対照を中心に

李, 杰
九州大学大学院比較社会文化学府

<https://doi.org/10.15017/21903>

出版情報：比較社会文化研究. 31, pp.67-74, 2012-03-05. 九州大学大学院比較社会文化研究科
バージョン：
権利関係：

否定の意味を示さない「～ないか」について

——中国語との対照を中心に——

リ
李

ケツ
杰

1. はじめに

下は北京日本学研究中心の『中日対訳コーパス』第一版(CD-ROM版)から選んだ誤訳の例文である。

- (1) 高二林见他那郑重其事的样子,有些纳闷,就问:“什么事,您先告诉我一个头儿不行吗?”

《金光大道》

高二林は、そのさも重大事らしい様子が気になった。「何ごとですか、肝心のとこだけでも話してくれませんか?」

- (2)「让治さん、今年の夏は久振りで鎌倉へ行かない?」
八月になると、彼女は云いました。「あたし、あれっ
きり行かないんだから行って見たいわ」

『痴人の愛』

“让治，好久没去鎌倉了，今年夏天不去吗?”八月的一天，她说道，“我只去过那一次，想再去一次。”

(1)と(2)は、それぞれ「肝心のとこだけでも話してくれてもいいだろう」、「让治，好久没去鎌倉了，今年夏天一起去吧!」に訳すればもっと適切だと思われる。誤訳になったのは、原文は否定疑問文を使用しているから、訳者がそれに影響されて、同じ否定疑問文に訳したからであると考えられる。実際には、「～ないか」と「不(没)～吗」のような否定辞を伴った疑問形式は、同一の文法的範疇といっても、その機能は言語間で異同があるものと期待される。本論は、両形式がそれぞれどのように用いられ、どのように機能しているのか、どういうモダリティ的な要素を持っているのかを対照することによって、「～ないか」の全体像を究明したい。

日本語の否定疑問文の形式の扱い方には、これまでの研究には主に二つの立場がある。一つは、否定疑問文は否定辞「ない」と疑問助詞「か」の組み合わせを持つ疑問文をひとまとめにして分析する立場である。これは田野村(1988)などに見られる。もう一つは、「～ではないか」「～のではないか」などは、文末形式としての固定化(文

法化)が進んで、意味的、機能的にも異なっていると考えているため、「～ないか」「～ではないか」「～のではないか」を分けて扱うものである。これは安達(1999)、宮崎(2002)などに見られる。本論では後者の立場をとり、「～ないか」を否定疑問文を呼ぶことにする。

2. 「～ないか」の各機能

田野村(1988)では、「否定疑問文」を、終助詞の「か」で終わる文、および「か」を伴っていないが文意に変化を来すことなく「か」を補うことのできる文、また、主たる述語が否定辞「ない」を伴う疑問文と定義している。「否定疑問文」は、便宜的な性格の強い名称であり、形式的にも機能にも多様なものを包含するものである。一口「～ないか」と言っても様々な文がある。

- (3) 帰りがけに山嵐は、君赤シャツは臭いぜ、用心しないとやられるぜと注意した。どうせ臭いんだ、今日から臭くなったんじゃないかと云うと、君まだ気が付かないか、きのうわざわざ、僕等を誘い出して喧嘩のなかへ、捲き込んだのは策だぜと教えてくれた。

『坊ちゃん』

- (4)「なんだ、君も飯を食べていないのか。じゃあ、放棄してやろうか」

『あした来る人』

- (5) しかし彼は自分を顧みる。そして自分の尊敬する人々のことを思う。自分の力なきものだと言うことをあまりに露骨に知らないわけにはゆかなかつた。まだ二十三だ。しかしそんなに偉い素質があるだろうか。ただ自惚にすぎないか。

『友情』

- (6)「そう? でもおかあさんに悪くはない?」

『痴人の愛』

- (7)「どこかでお茶を飲まないか。ちょっと話そう」

『あした来る人』

上記の例のうち、(3)(4)は、否定疑問文中で、否定辞「ない」が否定命題を形成し、その真偽を、否定命題を用いて聞き手に問いかけている文である。(5)(6)の否定疑問文は、それと異なり、文全体が否定事態の問いかけをなさず、むしろ肯定事態を想定して聞き手に持ちかけ、問いかけている。(7)の例では、否定疑問文は、相手に問い掛けるだけでなく、行動を勧誘する文として機能している。

本論は中国語と対応する「～ないか」と対応しない「～ないか」に分けて、論を進める。

3. “不(没)～吗”と対応する「～ないか」

中国語の否定疑問文は主に“不”“没”などの否定辞と疑問を表す助詞“吗”で構成されている。“不(没)”や「ない」は命題の内部に存在、つまり否定した命題を聞き手に問いかける文を命題否定疑問文と呼んでいる。

(8) Don't you like Tokyo?

Yes, I do.

No, I don't.

東京はお好きじゃないですか？

いや、好きです。

ええ、好きではありません。

你不喜欢东京吗？

没有哇，我喜欢东京。

嗯，我不喜欢东京。

(作例)

例文(8)から分かるように、英語では、疑問文が肯定の形をしていようか、否定の形をしていようか、答えそのものが肯定文であればyesを、否定文であればnoを使うということになる。中国語と日本語の場合は全然違う。「相手が東京は好きではない」という話し手の概念が出発点となって、それが事実かどうかと尋ねているわけであるから、聞き手はその観念を察知して、もし自分が「東京は好きではない」のであれば、「はい、あなたの考えのとおり、私は東京は好きではない」と答えるのが当然である。即ち、質問命題と応答命題の極性が一致する場合には肯定、一致しない場合には否定の応答辞が用いられる。肯定と否定、両方の答えの候補として持つこの類の文を単純(純粋)真偽疑問文とも呼ばれている(井上(1996))。回答の仕方から見れば、中立的な無色の否定疑問文においては、日本語と中国語の考え方が同じで

ある。

また、「東京は好きじゃないですか」のような日本語では、このように否定疑問文は命題内に否定辞が存在し、その命題を聞き手に問いかけるという形をとるので、しばしば「のだ」を用いた疑問文「東京は好きじゃないんですか？」、と置き換えることが可能である。

4. “不(没)～吗”と対応しない「～ないか」

4.1 存在文

日本語では相手に何かを所持しているかどうかを尋ねる場合、或いは「赤ちゃんを抱いた女の人、見ませんでしたか？」のような何かを探しているという文脈が前提とされた場合には否定疑問文が現れるのが普通である。例えば、相手に小銭を持っているかどうかを尋ねる場合、「小銭ある？」というストレートな表現より、「小銭ない？」のほうは相手が所持していること、貸してもらえらという肯定の答えを予想している意味合いを帯びていると思われる。

中国語なら、肯定の真偽疑問文の“有…吗？”或いは正反疑問文の“有没有”(或いは“有……没有”)を用いるのは普通である。“有零钱吗？”“有没有零钱？”同じ状況同じ意味として用いられる。正反疑問文は真偽疑問文に近く、真偽疑問文の下位分類と見なしてもいいという考え方もある(范1982)。つまり聞き手に肯定と否定の二つの選択肢から回答を選ばせることになり、相手への配慮は全くないということである。

(9)「庄原へ行きたい人、ありませんか。汽車に乗れる自信のある人、手を挙げて下さい。戸坂から庄原まで、汽車で三時間です」と国防婦人会の女の声が聞えた。

『黒い雨』

紧接着，传来了国防妇女会女人的声音：“有愿意到庄原去的吗？有信心能坐火车的人请举手。从户坂到庄原坐火车要三小时。”

(10)ところで軽井沢には、ずっと八月一杯滞在するのですか。ときおり東京の濁った空気を吸いに帰って来る気はありませんか。旨いアイスクリームを食べさせる小さな店を発見しました。

『青春の蹉跎』

你在轻井泽一直呆到八月底吗？是不是偶而也回来呼吸呼吸东京沉浊的空气。最近我发现一家冰激凌做得特别好的小冷饮店。

(9)(10)のような存在文を「傾き」を持たない疑問文と安達(1999)は判断しているが、本当にそう言いきれるだろうか。アンケート調査では「～ありますか」を使用しているが、「～ないか」は用いられていないのはなぜだろうか。

(11)「死にたいほど悩んだことがありますか」という質問には、二四パーセントが「ある」と答えたという。

『心の危機管理術』

另外，对于“有没有因为什么事情而使你苦恼以至产生轻生的念头？”这一问题，有20%的人回答说“有”。

この文の場合では「死にたいほど悩んだことありますか」が用いられないのは、「ありませんか」は聞き手が肯定の回答である可能性があるという予想が入っているからである。中立な立場をとらなければならないアンケート調査では「ありませんか」を使用できない。否定疑問の存在文は「中立的」「傾きがない」とは言いきれないと思われる。

存在文の「ないか」は“不(没)～吗”とは対応しない。肯定形の(11)も、否定形の(12)も、全部正反疑問形式の“是否”、“有没有”に訳すのは普通である。

(12) 仕舞に駄菓子屋の上さんに、ここいらに小ぢんまりした貸家はないかと尋ねて見ました。上さんは『そうですね』と云って、少時首をかしげていましたが、『かし家はちよいと……』と全く思い当たらない風でした。

『こころ』

后来，我向粗点心铺的老板娘打听，这一带是否有舒适的出租房。……（訳文1）

最后向一家小点心铺的老板娘探问这一带有没有小而整洁的出租房屋。……（訳文2）

4.2 働きかけ機能の「～ないか」

4.2.1 日本語：否定疑問文から働きかける文への移行

日本語では、誘うことや勧めることの表現において、否定疑問文を用いることで、聞き手が勧めに応じないことを見込んでいくかのように表現している。特に聞き手が予想していない行為や、聞き手の予定や意志に反する行為をするように誘うときには、否定疑問文のほうが適している。(田野村1991)

また、行為要求表現の場合、日本語では肯定疑問形より否定疑問形のほうが丁寧な感じがすることが敬語や待遇表現の先行研究において指摘されてきた。例えば、「～

てくれる」より「～てくれない」のほうが、また「～てもらえませんか」のほうが「～てもらえますか」より丁寧に感じられる。これについて、菊池(1997)は、否定疑問形のほうが肯定疑問形より丁寧に感じがするのは、相手に押し付ける感じが弱く、拒否する余地を多く与えるような印象があるからであると指摘している。

肯定疑問文には、問題の行為を聞き手が承諾するものと初めから見込んでいる感じが伴うため、相手の承諾があまり期待できない状況では、肯定疑問文にすることは無理である。否定形を用いると、話し手が「てくれる」「てもらえる」ことを期待しながら、控えめに依頼していることが表される。従って、聞き手が依頼を受ける可能性が低い場合や、依頼しにくい目上の人に対して依頼を行う場合などでは、否定形の方がより適切であると言える。また、否定形の上に、「もしよければ」「恐縮でございます」「お時間がございましたら」のような言葉を付け足して、丁寧度を更に上げることはよく見られる。

(13)「本当に聞きたいんです」と僕は言った。「もしよければその話を聞かせてくれませんか?」

『ノルウェイの森』

(14)「とにかく先生、お忙しいところ恐縮でございますが」と話を逸らし、さっき云いかけて止したことを云った。「先生、お手空きの時間がございましたら、その日記をお読みになっていただけませんかでしょうか。…」

『黒い雨』

4.2.2 中国語：正反疑問文から働きかける文への移行

中国語では、誘いかけは例(15)のように直接的でない方、或いは(16)のように命令文の文末に助詞“吧”を付けて相手に呼びかける。否定疑問文は用いられない。

(15) 他一边走着，一边向落在身后的道静点头笑道：“明天晚上咱们再一起到新文字研究会去看看。明天见！”说罢，他走进一条小胡同里，倏忽不见了。

《青春之歌》

歩きながら、うしろにとり残された道静をふり返って、うなずきながら笑った。「明日の晩、また一緒に新文字研究会にいつて見ない？じゃ、あした！」

(16) 三弟妇常说：“大哥，你和我们一起去吧。”

三弟の妻はいう。「お兄さま、いっしょに行きましょうよ」

《关于女人》

「～くれないか」「～もらえないか」のような依頼文に対して、中国語の否定疑問文に依頼の機能がなく、日本語の否定疑問文とは違うシステムを持っている。

例えば、写真撮影を頼む時、中国語は10種類以上の言い方がある(相原2008)。

直接依頼の命令文:

“请帮我们找张相”「写真を撮ってください。」

文末に“価値判断のモダリティ形式+吗”をつける疑問文:

“帮我们照张相，好吗(可以吗)?”「写真を撮ってもらっていいですか。」

“可能の助動詞+VP+吗”:

“可以请您帮我们照张相吗?”「写真をとってくれますか。」

“可能の助動詞+否定+可能の助動詞+VP”の正反疑問文型(あるいは反復疑問文型)はすべての類型の中で、もっとも丁寧で、敬度が高いと認められている。

“能不能麻烦您给我们照张相?”

日本語の否定疑問文の代わりに、中国語の正反疑問文はポライトネス・ストラテジーとして、勧めや依頼の談話でよく用いられている。このことは先行研究で明らかになっている。聞き手に行為の実行を求める働きかけの文として機能するとき、正反疑問文は日本語の否定疑問文とは似ているとすることができるだろう。(17)の「落してくれない?」の三つの中国語訳バージョンから、日中両言語の対応関係が分かるだろう。

(17) 屋根の雪を落す男を見上げて、「ねえ、ついでにうちのも少し落としてくれない?」と、湯帰りの女が眩しそうに濡れ手拭で額を拭いた。

『雪国』

一个从浴池回来的女人，仰头望着在屋顶扫雪的汉子说：“喂，请你顺便扫一扫我们的屋顶好吗?”女人感到有点晃眼，用湿手巾揩了揩额头。(訳文1)

屋顶上有人在扫雪，洗澡回来的一个女人，眼睛眨眨地用湿手巾擦着额头，她向上望着说：“您呀，可不可以把我家的雪也扫下来?”(訳文2)

一个从澡塘回来的女人，仰头望着屋顶上扫雪的男人说：“劳驾，顺便帮我们也扫一下吧，行吗?”似乎有些晃眼，拿湿手巾擦着额角。(訳文3)

一方、中国語の否定疑問文では全く違う機能を有する。インフォメーションなどで「町の地図いただけませんか?」を“不能给我张地图吗?”とは決して言わない。否定疑問文の形にすると、「私は地図をもらえるはずだ」

という押し付けがましいニュアンスが付け加わってしまうからである。“不成吗”“不行吗”“不好吗”などはよく以下の例文で用いられる。

(18) 我抓住他的肩膀，把他往门外一推，笑嘻嘻地说：“好了，好了，人性专家。我可不想讨论这类问题。你的古典文学根基很好，搞点古典文学研究不成吗?”

おれは彼の肩をつかんで外におしやり、笑って言った。「分かったよ、人間性の専門家さん。だけど、ぼくはその手の問題は話し合いたくないね。君は古典文学の素養があるんだから、そっちの研究でもやたらいいのに」

《人啊，人》

(19) 他讲啊讲啊，不停地讲，一直到我实在忍不住，腾地坐起来嚷：“我的头都给你讲得炸开了！我求求你，让我安静一下不行吗?”

彼に立て続けに言いまくられて、ついに私は耐え切れずにパッと身を起すと叫んだ、「あなたの声で私の頭を打ち割るつもり?お願いだから少し静かにさせといて!」

《天云山传奇》

“不成吗”“不行吗”“不好吗”を先行する文はプラスの勧めや依頼ではなく、(18)のように予想と食い違う事態になって残念という気持ちを表したり、(19)のように恨みや非難の気持ちが示されたりすることが多い。

5. 中間位置の「～ないか」

日本語の否定疑問文は、肯定と否定、両方の答えの候補として持つものだけではなく、構文上は否定疑問文でも意味上は発話内容が否定されていない疑問文の存在がよく指摘されてきた。

(20) 私に黙ってることない?

(安達(1999)から引用)

(20)のように、命題について真偽判断を求めているのではなく、話し手はある根拠から相手が自分に隠し事をしているということに気づいて確認要求の場面に使用されている。こうした否定疑問文中の「ないか」は否定命題の構成には関与せず、むしろ「ないか」全体で、一つの談話標識あるいはモダリティー表現として捉えられてきた。「私に黙ってることあるだろう」「私に黙ってることあるんじゃない」と言い換えると指摘されている(安

達1999)。このように、問題となる命題を真と見なし、確認のために相手に質問をするという「肯定的傾き」或いは「肯定的偏り」を持つ否定疑問文を寺門ら(2008)に「確認の否定疑問文」と呼ばれている。この類の確認要求の否定疑問文は中国語の“你是不是有事瞒着我?”或いは“你有事瞒着我吧?”に訳されるのは普通である(李2011)。

(21)「こんな仕事をやって、君は恥かしくないか?」
『死者の奢り』
“干这样的活儿，你不觉得难为情吗?”

(22)「では、校長先生、あの君の言うこと為すことが貴方の眼には不思議にも映りませんか。克く注意して、瀬川丑松という人を御覧なさい——どうでしょう、あの物を視る猜疑深い目付なぞは」
『破戒』
“那么，校长先生，你不觉得他的言行有些可疑吗?你好好注意观察瀬川丑松这个人，怎么样?你看他看人时那副疑神疑鬼的神态。”

しかし、(21)と(22)のように「恥かしい」「不思議」のような感情を表す単語が述部に入っている場合、確認要求の「～ないか」は、中国語の“不(没)～吗”と対訳できる例がある。また、(23)と(24)觉得(気がする、感じる)、认为(思う、考える)などの動詞の否定疑問形も、日本語の「気がしないか」「思わないか」と対訳している。

(23)“问我这话的人多得很，你不是第一个。原因是，我的父母很摩登，从小，他们没有强迫我订婚或结婚。到自己大了，挑来挑去的，高不成，低不就，也就算了……”R女士凝视着我，说：“你不觉得生命里缺少什么吗?”

『关于女人』
「よく尋ねられます、あなたが初めてではありません。こうなったのも、父母の考え方がモダンで、私に婚約や結婚を強制しなかったからです。歳を重ねてからはあれこれより好みをして、欲しいものは手に入らず、手に入るものは気に入らず、というようなわけで……」マトモワゼル・Rはじっと私を見つめて、「何か人生にもの足りないような気がしませんか」

(24)朋友，你不认为马克思主义赋予了人道主义以最彻底的、最革命的意义吗?你不认为为了达到共产主义的理想境界，我们必须消除一切压制人的天性，扼杀人

的个性的封建残余吗?

《人啊，人》
友よ、君はマルクス主義がヒューマニズムに最も徹底的、最も革命的な意義を賦与しているとは思わないか?君は共産主義の理想世界に到達するためには、人間の天性をおさえつけ、人間の個性を殺す封建制の残りかすを一掃しなければならないとは思わないか?

“不(没)～吗”は「～ないか」と同じく、問いかけの形を取りながら、話し手が命題内容に対する真偽判断が成立し、相手からの確信や同意を求めているといった機能がする。場合によって、自分の意見を強調しすぎて、相手に押し付ける反語文のニュアンスが伝わる。更に、下の例のように、副詞“难道”(まさか……ではあるまい、……とでもいうのか)と同時に使用すると、相手を叱責する語気を一層強めることができる。無論回答の必要はない。

(25)「蒋校长，日本人把你堂堂大学校长都扣留了三个钟头，难道你不觉得愤慨么?不以为羞耻么?」

《青春之歌》
「蒋学長、日本軍は堂々たる大学の学長の身柄を、三時間も拘束したという話だが、あんたはそれを恥とは思わないのか?辱しめを受けたとは感じないのか?」

5. 考察

日本語の「ないか」は、一口に「否定」と言ってもその機能一様でなく、いわゆる否定の働きからかけ離れている場合が少なくない。

(26)「このへんにまだお酒飲めるお店、ご存知ありませんか?」と彼女は言った。

『ノルウェイの森』

(27)「バツタを知らないのか、知らなけりゃ見せてやろう」と云ったが、生憎掃き出してしまっ一匹も居ない。

『坊ちゃん』

「存知ありませんか?」の「ないか」は命題を否定する意味はなく、むしろ肯定の「知っているか」と入れ替えられる。それに対して、「の」の付加で「知らないのか?」は命題を否定するために用いられている。前者の「ない」を命題の否定と、後者の「ない」を述語の否定と呼ぶ。

钱敏汝(1990)は「否定辞“不”が文中の位置を問わず、意味論上その範疇に入れる項目をすべて“不”のカテゴリと見なすことが可能である。」と指摘している。(原文:“否定载体‘不’的否定范围是它最大可能的语义作用范围,无论‘不’在一个语言表达中出现在什么位置,所有在语义上有可能成为被否定项的成分都属于否定范围”)。中国語の“不……吗?”は主に命題を否定するために用いられている。

中国語で、否定疑問文が用いられるのは、話し手がある命題Pの成立を予想していたが、現実には¬Pの成立を示唆する証拠が存在し、ここに一種の矛盾や驚きが生じるので、それを確かめる場合である。例えば、相手が学校へ行くことを予想しているが、出発しようとしないうちに相手に“你不去学校吗?と尋ねることができる。つまり、事態を確認するものとして捉えられている。

命題否定、事態確認という性質から見れば、中国語の“不……吗?”は日本語の「～ないか」より、「ないのか」の方と対応すると言えるだろう。そのため、単純否定疑問文と反語意味の確認要求の否定疑問文において、“不……吗?”と「～ないか」が対応できたと思われる。

「～ないか」は先行の文脈或いは背景があってもなくても、文が成り立つのに対して、“不(没)……吗”は予想と現実の間の矛盾から「非難・叱責・詰問」のニュアンスが生じるため、使用できない。「このあたりに銀行ありませんか?」は言えるが、“这附近没有银行吗?”は使うことは決してない。このような言い方をすると、「銀行は当然このあたりになくちゃいけない」とか、「このあたりに銀行がないなんて変ですよ」といった余計なニュアンスが加わって、不適切な表現であると言える。

6. 終わりに

本論文は「～ないか」と“不(没)～吗”の対応状況の分析を通して、同じく否定疑問文という文法的範疇にある両者の異同を見てきた。「～ないか」は命題否定疑問文以外に、存在文や働きかけの文のような否定の働きからかけ離れた場合でも使用されている。“不(没)～吗”は命題否定、事態確認という性質から、日本語の「～ないか」より、「ないのか」の方と対応することがはっきりできた。“不(没)……吗”は予想と現実の間の矛盾から「非難・叱責・詰問」のニュアンスが生じるため、中国語では存在文や働きかけの文は否定疑問文ではなく、正反疑問文によって実現されていることも明らかになった。

参考文献

- 安達太郎(1991)「いわゆる『確認要求の疑問表現』について」『大阪大学日本学報』10
 (1999)『日本語疑問文における判断の諸相』くろしお出版
 相原まり子(2008)「依頼表現の日中対照研究——相手に応じた表現選択」『言語情報科学』6 東京大学大学院総合文化研究科
 井上優(1992)「否定疑問文に対する『有標の応答』」『日本語学』4月号
 井上優・黄麗華(1996)「日本語と中国語の真偽疑問文」『国語学』184集
 菊地康人(1997)『敬語』講談社
 小山次郎(2002)「否定疑問文と『はい』『いいえ』」『奈良産業大学紀要』18
 久野暲(2000)『文本文法研究』大修館書店
 田野村忠温(1991)「疑問文における肯定と否定」『国語学』164集
 寺門伸・佐藤利哉(2008)「否定疑問文に対する日本語と独語・英語の考え方の相違」『CLARITAS』21 愛知教育大学英語英文学会
 服部匡(1991)「否定命題に関する覚書」『徳島大学教養部紀要』26
 米倉利栄(2002)「否定の意味を示さない否定疑問文に関する一考察」『北條淳子教授古希記念論集』早稲田大学日本語研究教育センター初級教科研究会
 于日平(1984)「うちけしのたずねる文」から「働きかける文」への移行について
 『語学教育研究論叢』創刊号 大東文化大学語学教育研究所
 李杰(2011)「“是不是”の『傾き』について」『東アジア日本語・日本文化研究』12
 钱敏汝(1990)《否定载体不的语义——语法考察》《中国語文》1
 邵敬敏(1996)《现代汉语疑问句研究》华东师范大学出版社

例文出典

北京日本学研究中心の『中日対訳コーパス』第一版(CD-ROM版)の日本語資料:『あした来る人』『坊ちゃん』『越前竹人形』『布団』『雁の寺』『破戒』『鼻』『金閣寺』『こころ』『高野聖』『黒い雨』『野火』『ノルウェイの森』『羅生門』『飼育』『死者の奢り』『砂の女』『斜陽』『痴人の愛』『友情』『雪国』『日本戦後名詩百家集』『百言百話』『ひとりっ子

の上手な育て方』『激動の百年史』『日本経済の飛躍的な発展』『心の危機管理術』『近代作家入門』『日本列島改造論』『日本国憲法』『タテ社会の人間関係』『適応の条件』『五体不満足』

中国語資料：《插队的故事》《盖棺》《丹凤眼》《轱辘把胡同9号》《关于女人》《活动变人形》《红高粱》《金光大道》《家》《轮椅上的梦彷徨》《青春之歌》《倾城之恋》《棋王》《人到中年》《人啊，人》《上海的早晨》《霜叶红似二月花》《天云山传奇》《小鲍庄》《骆驼祥子》《钟鼓楼》《人大报告》《我的父亲邓小平》《中日飞鸿》《毛泽东选集》

A Study on the Japanese, “*naika-*,” Not Showing Negative Sense, in Contrast with the Chinese, “*bu …ma*”

Li Jie

Although the Japanese “*naika-*” and the Chinese “*bu …ma*” question formats belong to the same grammatical category, accompanied by words which show a denial meaning, there still remain some differences between the two languages. In functions or formats, for example, the negative predicate “*naika-*” does not correspond with the Chinese exactly. In Japanese, the phrase is represented in the form of a question statement denying the lobbying statement, whereas the Chinese may be implemented using a normative question. The Chinese, “*bu …ma,*” is used as an ironic statement. It is possible to emphasize the tone and in some cases, it could have “demand, rebuke, or condemnation” nuances.